



※「はらまち九条の会」は、超党派の自由な市民のゆるやかな会で、匿名でもけっこうです。現在の会員405名。さらに会員を募集中です。年会費千円をお願いしています。

九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.124

2010(平成22)年2月18日(木)発行

<映画「いのちの山河」のテーマ・憲法第25条は、【最低生活の保障、国の社会保障義務】を規定>

憲法第25条 ① すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
② 国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

- 健康で文化的な最低限度の生活 人間として生きていくための最小限の生活。単に生物的に生きているというだけではなく、人格が保持できていること。これを生存権という。
- 社会福祉 社会的な弱者、例えば生活困窮者、一人親(母子・父子)家庭などに対する保護・治療のための施策、施設の設置のこと。
- 社会保障 疾病、身体障害、老齢などによる生活困難に対して、国家が社会的責任を負って行う所得・サービスの保障。

- 公衆衛生 社会全体の人々の健康のため、病気の予防などを行うこと。伝染病の予防、飲食物取り締まり、検疫など。
- 向上及び増進 「社会的弱者」が安定した生活を確保して、人間的な生存を可能にするために、国の責務を定めている。
(一橋出版『憲法の解説五訂版』¥525より)
- 憲法9条で平和を維持し、この25条で生存権を保障、確保されてはじめて平和といえます。映画「いのちの山河」は日本で初めてそれを実現した岩手県沢内村を描いたものです。

映画「いのちの山河」チケットのご購入と販売にご協力ください

映画鑑賞券 ¥1,000

○2010年3月7日(日)
10:00 14:00 18:00
南相馬市原町区 朝日座

5月15日(土)
10:00 14:00 18:30
小高区 浮舟文化会館

主催：「いのちの山河」南相馬市上映委員会
後援：南相馬市教育委員会、南相馬市社会福祉協議会、朝日座を演じむ会、福島民報社、福島民友社

- チケットは1枚1,000円 チケット販売目標：1,200枚
- 会員の皆様が一枚購入していただければ、405名×1枚=405枚
 - ご家族同伴で入場していただければ、405名×2枚=810枚
 - さらに、知人などに紹介し、購入していただけたとするなら、405名×3枚=1,215枚販売で、会計上はOKとなりますが...

チケットを購入するには、販売所は

- <はらまち九条の会・小高九条の会の事務局員へご連絡ください>
- <原町区> 国際交流協会、南相馬市市民活動サポートセンター、花吹雪、文芸堂書店、北洋会クリーニング、おおうち書店、アサヒ理容院、平田小児科医院、れすとらんぱびよん、井上薬局
- <小高区> 小松屋旅館、自然食品の店あいさい家族、サトウ教材社、広文堂書店小高店、セブンイレブン小高店 <鹿島区> 菊地書店
- 3月7日(日)原町朝日座・5月15日(土)小高浮舟文化会館共通券です。

後援・推薦団体を招き
試写会を開催
記事は2月15日付「朝日新聞」、写真は「福島民報」より

「いのちの山河」

南相馬で試写会

半世紀前、全国で初めて老人医療費を無料化した岩手県沢内村(現・西和賀町)の深沢雄村長が奮闘を描いた映画「いのちの山河」日本の青空Ⅱの完成披露試写会が14日、南相馬市原町区の大正生まれの映画館「朝日座」で開かれた。全国公開が始まっており、県内でも来月6日の喜多方市を皮切りに4会場での上映が決まっている。

深沢村長は「豪雪、貧困、多病」の三重苦にあえぐ山あいの村で1960年、65歳以上の老人医療費無料化に踏み切り、翌61年に対象を60歳以上に引き上げた。「無料化は国民健康保険法違反」という県に対し、憲法25条の生存権を盾に反論。62年には全国の自治体で初めて乳児死亡率ゼロを達成した。映画は村長が「生命尊重」を掲げて村中を駆け回る姿を描く。

撮ったのは旧小高町(現・南相馬市小高区)出身の憲法学者・鈴木安蔵氏を主人公に日本国憲法誕生の経緯を描いた前作「日本の青空」の大澤豊監督。出演は長谷川初範、とよた真帆、加藤剛ら。

「日本の青空Ⅱ」製作委員会(東京)によると、3月6日の喜多方プラザ小ホールに続き、同7日・南相馬市の朝日座、同9日・会津若松市文化センターホール、5月15日・南相馬市小高区の浮舟文化会館で、各地の団体によって上映される。



「いのちの山河」の試写会に訪れた人たち

神と国家の間 6

統治権ハ国民ヨリ発ス

大澤豊監督、憲法九条・二十五条との出会い
『日本の青空』から『いのちの山河』へ



「『日本憲法学の生誕と発展』校了の日」の鈴木安蔵と妻の俊子。手前は理智子さん



大澤豊さん



鈴木安蔵

映画監督大澤豊(74)が「日本の青空」を撮ろうと思ったのは、2004年7月の一九条の会」の記念講演を聞きにいったのがきっかけだった。

「小田実さん、三木睦子さん、大江健三郎さん、井上ひさしさん……。自分の思いをせつせつと。われわれも『映画人九条の会』をつくったんですよ」
06年9月、安倍晋三政権ができて「憲法改正」を声高に唱え始めた。「私たちにできるのは、映画をつくること。では、じっくりかき書いていたら鈴木安蔵が出てきました」

鈴木安蔵ってだれ？ という現代の若い男女が、暗い時代に民主主義を夢見た憲法学者の苦闘を探り当て、それが戦後の日本国憲法につながっていることを発見する、そんな映画ができあがった。

1904年、福島・小高町に鈴木安蔵は生まれた。父は死に、クリスチャンの母に育てられ、安蔵も教会に通う。相馬中学では上級生の暴力追放の「同盟休校」をした。21年、仙台の旧制二高に進み、翌年出会った親友が1年下の栗原祐。佑の父は、あのプゼル先生のバイブルクラ

スのまな弟子栗原基、京都の旧制三高の英語の教授である。

23年、関東大震災。25年、治安維持法。時代は急ぎ足だった。安蔵と佑は「社会思想研究会」をつくり、マルクス主義に傾斜していく。相次いで京都大学に進学、26年1月、「京都学連」事件が起きた。

「鈴木安蔵だな。女手ひとつで帝大に、あいすまんと思わんのか、アカに染まりくさって」と映画「日本の青空」の、警察の取り調べシーン。

鈴木は「国体と相容れざる社会革命思想を抱懐した」かどで治安維持法違反の第1号、逮捕され禁固刑になる。しかし青春の日々である。やはり逮捕された親友栗原佑の妹俊子といつしか恋に落ち結婚する。

「あれはできちゃった婚かも知れない。生まれたのが私」とほほ笑むのは、長女鹿島理智子(82)。英語教師だった。「母はしゃべるのが怖いという体験をしたのじゃないかしら、口数少なかった。父はおしゃべり」
大正デモクラシーの暖風は通り過ぎ、昭和の軍国が来る。いったい国家って何だろう。安蔵は憲法学に向かった。京大を退学、定職定収入なく図書館で勉



鹿島理智子さん

強の日々。俊子の父栗原基から、プゼル先生のもので基と一緒だった「民本主義」の提唱者吉野作造を紹介してもらった。33(昭和8)年1月、そして3月5日には病床で、安蔵は2度作造に会った。「憲法学の諸潮流を語ってまたたくまに時間がすぎた。咳きみながら、時々水を呑みながら」話してくれた作造はその13日後、この世を去る。作造55歳、安蔵29歳。天皇主権下の「民本主義」から「国民主権」の思想にバトンを渡した瞬間だったかもしれない。

「キリスト者の祖父は立派でした。息子や娘はアカになっても集まってくるんですからね」と理智子。その寛容！
立正大学教授の金子勝(66)は、戦後、ようやく教壇に立つことができた安蔵の愛知大学の大学院での教え子である。「私が松葉を拾ってきて教室のたるまストープをたいて、先生を迎えたいんですよ」。金子はずっと安蔵のそばにいて、安蔵を「日本国憲法の間接的起草者」と位置づける。

日本の敗戦、占領軍は戦前の憲法の改正に動く。民間からも数々の憲法草案が発表された。代表的なものが、高野岩三郎、森戸辰男、馬場恒吉ら、そして「憲法の専門家」の君が入ってくれ」と請われた鈴木安蔵の「憲法研究会」の草案である。
45年12月26日、安蔵らは、手書きのそれを首相官邸、連合国軍総司令部(GHQ)に届けた。日本政府が「天皇主権」にこだわりの続けたのと違って、そこには「日本国ノ統治権ハ日本国民ヨリ発ス」と、「国民主権」がうたわれていた。

「GHQが『民主主義的で賛成できる』と評価したのは先生の草案だった。天皇と金持ちの憲法学から民衆の憲法学に変えたのは先生なのです」と金子。
83年8月、安蔵は79歳で世を去る。貧乏に耐えつつロシア語を勉強したり、無産者保育所を営んだりした妻俊子は、晩年の病院のベッドで「何か天井でがたがた言うのよね」と不安がった。それは、何の音だったのだろう。(早野透)



金子勝さん